

特殊詐欺の発生状況（平成30年6月末） ～県職員や警察官を名乗る不審電話が多発！～

1 県内の特殊詐欺の認知状況（平成30年6月末現在）

- 被害認知件数は**26件**（前年同期比－29件）
- 被害額は**約4,510万円**（前年同期比－約7,020万円）
- 架空請求詐欺被害が最多（被害全体の65%）

2 平成30年6月中の認知状況

- 被害認知件数は**5件**（前年同月比－9件）
- 被害額は**約1,000万円**（前年同月比－約520万円）
- 手口別では、
 - ・ 架空請求詐欺（有料サイト利用料金名目等） 3件
 - ・ オレオレ詐欺（金融庁かたり等） 2件

3 県内で発生した特殊詐欺事例の紹介（6月中）

- **県職員や警察官等を名乗った不審電話が多発！**

高齢者宅に、県職員や消費者センター職員、警察官を名乗る男から
 ・ あなたの個人情報が出ている
 ・ 登録されている個人情報を削除しなければならない
 などという特殊詐欺の予兆と思われる不審電話が相次いで架かってきています。

このような電話は、その後、

- ・ あなたの名義で商品が購入された、名義貸しは犯罪になる
- ・ 個人情報を削除するためには手数料が必要になる

などという話に展開し、弁護士費用や和解金名目で現金を要求される可能性があります。

「電話」で「お金の話」が出たら詐欺を疑い、家族や警察に相談してください。

～被害者の年齢・性別構成～

年齢	平成30年6月末		
	男性	女性	計
～ 19	－	－	－
20 ～ 29	－	4	4
30 ～ 39	3	1	4
40 ～ 49	－	1	1
50 ～ 59	3	2	5
60 ～ 64	1	1	2
65 ～ 69	1	1	2
70 ～ 79	－	3	3
80 ～ 89	－	5	5
90 ～	－	－	－
合計	8	18	26
内65歳以上の高齢者	1	9	10

～特殊詐欺全体の被害金交付形態～

交付形態	平成30年6月末 件数
振込型 （犯人が指定する口座に振り込ませる）	7
現金手交型 （犯人が直接現金を受け取る）	2
現金送付型 （郵便や宅配便などで現金を送らせる）	6
電子マネー型（コンビニで電子マネーを購入させる）	4
キャッシュカード受取型	1
収納代行利用型（コンビニ決済）	6
合計	26